

報告事項

平成25年度事業報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【事業の趣旨】

重要文化財多久聖廟及びその周辺地域は、藩政時代多久邑の中心として多くの史跡や文化財があり、緑豊かな恵まれた自然と古い町並みの景観は、一帯が歴史公園としての佇まいを呈し、文教の地「丹邱の里」として語り継がれている。

これら、自然的、歴史的、文化的佇まいの保存整備と調和のとれた開発並びに芸術文化の普及振興により、快適な地域の生活環境を醸成するとともに、この地を広く内外に紹介していくことにより、訪れる多くの人々が「心の豊かさ」を享受し、また、広域的な交流も図ることができる。

本法人では、多久の領主であった多久茂文が取り組んだ「文教の里づくり」を目指し、伝統芸能・文化の伝承、学芸文化の研鑽振興、児童・青少年の健全な育成、現地研修を重点的に事業として行っている。

この「文教の里づくり」を推進することにより、地域の文化及び芸術の振興を図り、もって地域の活力ある発展に寄与する。

【事業の体系】

- 1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業
 - (1) 積菜事業
 - (2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業
 - (3) スクール(寿)コンサート事業
 - (4) 中国の旅事業
- 2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

- (1) 孔子の里ジュニアガイド事業
- (2) 生活体験学習（通学合宿）事業
- (3) 中学校生徒会交流事業
- 3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業
 - (1) 多久聖廟の維持管理事業
 - (2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統
芸能の紹介の展示事業
 - (3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業
- 4 図書製作販売事業
- 5 新年のつどい開催事業
- 6 各種教室・講座開催事業
- 7 法人運営・管理事業

【事業の実績】

- 1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業
 - (1) 積菜事業

積菜は、多久聖廟創建(1708年)以来、三百有余年の歴史があり、春(4月18日)、秋(10月第4日曜日)の年二回開催している。1980年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

このような佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている歴史的伝統文化を適切に保存し、次世代への的確に引き継ぐとともに、市民の参加を促し、地域文化として形成を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

今年度は、春季積菜に群馬県在住の現代の名工である針生清司氏より宥座の器を多久市へ寄贈していただいたので、贈呈式を行った。

また、秋季積菜では、多久祭りが同日、同会場で行われた為、例年に比べ多くの来客者に来ていただいた。

- ①実施時期：春(4月18日)、秋(10月27日)の年二回開催
- ②事業の対象者：一般住民(参拝者：春約1,500人、秋約6,500人)
- ③周知方法：市報、新聞、ラジオ、チラシ等を活用して、周知した。

(2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業

全国より漢詩を募集してコンテストを開催し、伝統文化を活かした文化及び芸術の振興を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

① 募集(周知)方法

儒学と文化の里づくりとして、漢詩を全国から募集するとともに、市報、新聞、ホームページ、ガイド誌等を活用して、周知した。

② 審査方法

審査は公平を期すよう氏名などを伏せた作品を送付し、審査員の方々に審査していただいた。

審査員：石川忠久氏(学校法人二松学舎顧問・公益財団法人斯文会理事長、専門は古典中国文学)、岡村繁氏(九州・久留米大学名誉教授、専門は中国文学)

② 表彰方法

全国ふるさと漢詩コンテスト会場において、審査委員である石川忠久先生が発表し、講評した。

	氏名	住所	題名
最優秀賞	山田 治	東京都八王子市	へいりばいか 瓶裏梅花
優秀賞	河野 光世	東京都八王子市	きけとちやをすすむ 奠酒兮茶
	横山 英子	東京都久留米市	しんろうかんげつ 新樓看月
入選	城田 六郎	神奈川県横浜市	ゆきをたのしむ 楽雪
	住田 笛雄	神奈川県川崎市	りよくいんらくしゅ 緑陰楽酒
	高津 有二	神奈川県海老名市	ききょうほうゆう 歸郷訪友
奨励賞	古賀 千恵子	佐賀県佐賀市	とうやせんちや 冬夜煎茶

最優秀賞の作品は、石碑に漢詩を書いた陶板を埋め込み、東原庵舎周辺に設置した。

③ 応募実績：海外及び全国より 235 点の応募(応募者 151 名)

(3) スクール(寿)コンサート事業

多久市在住の趙勇(揚琴演奏家)氏の高いレベルの揚琴を鑑賞し、高齢者や子ども達の芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成を図るとともに、中国との異文化の理解と交流を深めることにより、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

① 開催場所等

i スクールコンサート:市内小中学校 6 校 (参加者:全校生徒、教師、保護者)

学 校 名	開 催 日	学 校 名	開 催 日
東部小	2月 7日(金)	東部中	3月 11日(火)
西溪小	2月 14日(金)	西溪中	2月 14日(金)
中央小	2月 27日(木)	中央中	1月 8日(水)

ii 寿コンサート:(11月20日(水)、多久町公民館、参加者:多久町老人会会員)

(4) 中国の旅事業

今年度は、多久市民の翼として5月に出発を予定していたが、鳥インフルエンザの感染の恐れがある為、延期となった。

中国国内の感染状況を確認し、中日友好協会等との日程調整後、11月4日から出発し、多久市と友好都市締結をしている山東省曲阜市の表敬訪問を行った。

その後、中国の歴史的文化遺産等を視察し、孔子直系子孫の孔徳懋氏と中国孔子基金会の楊光氏との懇親会を行った。

この中国の旅事業をとおして、市民レベルでの中国と日本の交流を深めることができ、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

①実施時期:11月4日~11月8日(4泊5日)

②実施地域：上海、曲阜、北京

③表敬訪問者：理事長以下 23 名

2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

(1) 孔子の里ジュニアガイド事業

児童や青少年の健全な育成のためには、地域活動への参加や様々な体験を通じて、自立と交流を促すことが必要あることから、児童や青少年の参加や体験を促す事業を一体的に展開し、その健全な育成を図った。

② 対象児童：小学校 4・5・6 年生

② 募集方法：毎年 4 月に対象者全員（約 1,100 人）に案内チラシを配布し、周知した。

③実施時期：毎月第 2・第 4 土曜日の午前中

④実施内容

i ジュニアガイドとしての指導、育成、郷土文化の伝承

ジュニアガイドに申し込んだ生徒を対象に、地域の歴史文化やガイドとしての心構えなどについて、60 分 8 回の講義を行い、ジュニアガイドとして育成した。

ii ガイドの受付、スケジュール管理

観光客等からのジュニアガイドの依頼を受け付けるとともに、ジュニアガイドのスケジュールを管理した。

iii 孔子の里観光ボランティアガイドの同伴

ジュニアガイドの実施日には、孔子の里観光ボランティアガイドが同伴し、ガイドに対するアドバイス等を行い、説明が適切に行われるようにサポートした

iv 他団体との交流

今年度は、佐賀市の佐野常民記念館の子どもボランティア・博愛少年団と交流事業を行った。平成 25 年 9 月 14 日には佐野常民記念館子どもボランティアの

方々が多久へ来られた。平成 26 年 3 月 8 日には、多久のジュニアガイドの子どもたちが佐野常民記念館を訪問した。

⑤参加実績：3人

(2) 生活体験学習（通学合宿）事業

子ども達の自立を阻害し、無気力な状態に追い込んでいる最も大きな原因の一つは、年齢相応に自ら体験すべきことを体験していない、体験の乏しさにあると考えられている。当事業は、年齢の異なる友達と一緒に生活をしながら、様々な体験を通して、我慢する心、譲りあう心、思いやりの心を学ぶ場として実施した。

① 実施時期：9月25日～28日(3泊4日)

② 実施場所：東原庁舎

③ 募集方法：多久市内の各小学校3年～5年生の全児童に案内チラシを配布し、周知した。

④ 参加費用：5,000円

⑤ 参加実績：44人（他、多久高校等よりスタッフとして4人参加）

(3) 中学校生徒会交流会事業

中学校の生徒会活動は、多くの学校がその学校単位のみで行っており、他の学校の活動について知る機会は少ない。このような状況の中、多久市内小中一貫校中学部生徒会役員が一堂に会し、各校の生徒会活動などの情報を交換し、グループワークや年間目標の作成などの活動を行った。

このことにより、同じ生徒会として他校の生徒会の活動を参考にする姿や共に今後の取り組みを考える姿が見られた。

① 実施時期：12月21日

② 実施場所：小中一貫校東原庁舎西溪校

③ 参加実績：40人

3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

(1) 多久聖廟の維持管理事業

当業務は多久聖廟及びその周辺に存在する2施設の一体的保全、管理を行うものである。

重要文化財「多久聖廟」と聖廟等に関する資料等を公開する「多久聖廟展示館」、社会教育施設・宿泊研修施設「東原庁舎」の3施設を一体的に管理、運営することにより、聖廟を見学し、展示館で枳菜などの伝統文化に触れ、東原庁舎で講義研修を受講することができるなど一連の流れの中で学習することができる。

これらにより、多久聖廟に関わる地域の伝統や文化を総合的に学ぶことができるなど、「文教の里」として、当地域の伝統や文化を横断的かつ一体的に体験し、学習する機会を創出することに繋がり、文化・芸術の振興・発展や地域の活力ある発展に寄与した。

(2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

多久聖廟は、約300年の間に度々改修が行われている。多久聖廟展示館では、この改修の変遷や発掘された文化遺産などを展示している。また、枳菜で行われる伝統芸能の紹介、衣装の展示や、多久聖廟や枳菜に関する資料や過去の研究などを展示することにより、聖廟周辺の文化の振興に寄与した。

① 孔子、四配に関する調査研究、資料等の展示

多久聖廟に祭られている孔子像及び四配に関する過去の調査資料を展示するとともに多久聖廟周辺で発掘された文化遺産を展示した。

② 枳菜に関する資料、衣装等の展示

枳菜で行われる伝統芸能の資料や衣装を展示した。

③ 多久聖廟展示館の維持管理

多久聖廟に隣接する聖廟展示館の維持管理を業務として、防犯、警備、防火対策や周辺の清掃及び通路の整備等を行った。

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

当事業は、社会教育施設・宿泊研修施設としての東原庠舎の維持管理及び施設を活用した文化の伝承・発展に寄与する事業を行うことにより、学芸文化等の研鑽振興を図った。

① 貸与実績：利用件数 272 件 利用人員 3,299 名（宿泊 704 名・日帰り 2,595 名）

4 図書製作販売事業

孔子廟に関する書籍や論語カルタ等を製作、販売することにより、多久聖廟、東原庠舎の歴史及び孔子の教えを広く一般に周知した。

また、今年度より通信販売サイト Amazon.com で販売を開始し、北海道や山形県、新潟県、福島県などから注文をいただいた。

① 販売場所：東原庠舎、多久市観光協会、TUTAYA 多久店、佐賀県物産振興協会、通信販売サイト Amazon.com

② 書籍概要：百人一首式論語カルタ（絵入・文字）2,500 円、論語カルタ 1,500 円、論語日めぐりこよみ 700 円、論語カルタ解説書 500 円、日本・中国・朝鮮の孔子廟 300 円、多久の詩情 1,000 円

③ 販売実績：1,172,490 円

5 新年のつどい開催事業

多久市民の有志等が一堂に会して、新年の抱負を語り、お互いの親睦を図った。

① 主催：孔子の里

- ② 対象：一般市民、市内、市外の企業等
- ③ 募集方法：市報、新聞、ホームページ等を活用して周知した。
- ④ 開催期日：1月6日（月）
- ⑤ 開催場所：多久シティホテル松屋
- ⑥ 参加実績：116名

6 各種教室・講座開催事業

次の各種教室、講座を開催し、住民の教養の向上と健康の増進、相互の親睦を図った。

① 市民大学

目的：様々な講座を開催し、多久市の生涯学習の発展に寄与することを目的としている。

- i 内容：岸川まんじゅう作り等 11 講座
 - ii 開催場所：東原庁舎や中央公民館など多久市内の施設
 - iii 開催期間：6月～翌年3月
 - iv 参加人数：延べ 1,311 人
- ② 論語教室：毎月第1土曜、東原庁舎にて開催、参加者延べ 104 人
 - ③ ヨーガ教室：毎月第2・3・4木曜日及び土曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ 362 人
 - ④ 絵手紙似顔絵教室：毎月第2土曜、東原庁舎にて開催、参加者延べ 53 人
 - ⑤ 太極拳教室：毎週金曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ 225 人

7 法人運営・管理事業

① 理事会開催状況

平成 25 年 5 月 13 日

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告の承認について

第 2 号議案 平成 24 年度決算報告の承認について

第 3 号議案 平成 25 年度定時評議員会の招集について

平成 25 年 5 月 31 日

第 4 号議案 常務理事の選定について

平成 26 年 3 月 6 日

第 5 号議案 平成 26 年公益財団法人孔子の里事業計画について

第 6 号議案 平成 26 年度公益財団法人孔子の里収支予算について

第 7 号議案 平成 25 年度公益財団法人孔子の里収支補正予算(第 1 号)について

第 8 号議案 公益財団法人孔子の里評議員選定委員会細則の制定について

第 9 号議案 公益財団法人孔子の里評議員選定委員会委員の選任について

第 10 号議案 平成 25 年度公益財団法人孔子の里第 1 回臨時評議員会の招集について

②評議員会開催状況

平成 25 年 5 月 23 日

第 1 号議案 平成 24 年度決算報告の承認について

第 2 号議案 理事の辞任に伴う補欠選任について

第 3 号議案 監事の辞任に伴う補欠選任について

平成 26 年 3 月 24 日

第 4 号議案 平成 26 年度公益財団法人孔子の里事業計画について

第 5 号議案 平成 26 年度公益財団法人孔子の里収支予算について

第 6 号議案 平成 25 年度公益財団法人孔子の里収支補正予算(第 1 号)について